

< 実践事例 東京都立白鷗高等学校 >

1. 取組・活動名

「東京体験スクール」

2. 取組・活動のねらい

- STEM授業 (Science, Technology, Engineering & Math) を通し、科学・テクノロジー・エンジニア・数学の合科型学習交流を行い、国を超えたチーム学習とチーム間の競い合いにより、「競争と協働」の精神を育成する
- 「選手村を考える」をテーマにし、2020東京オリンピック・パラリンピックの選手村のあり方について国を超えてチームで考察・発表することにより、東京オリンピック・パラリンピック運営について学ぶ。
- 「日本文化概論」の学習や学校生活体験を通し、生徒が日本の文化や風習を紹介することによって、日本の伝統・文化を再認識するとともに、ダイバーシティを尊重する態度を育成する。

3. 教育課程上の教科名・時数

「人間と社会および通常授業時間、放課後の部活動等・延べ20日間」

4. 実施上の工夫

- ・STEM教育の専門家を招き、科学・テクノロジー・エンジニア・数学の合科型学習について、留学生とのSTEM学習交流とともに、教員に対する研修を実施した。
- ・オリンピック・パラリンピック教育団体と連携し、留学生を交えオールイングリッシュの講座を開き、選手村についての意見交換と発表活動を実施した。
- ・「白鷗ともだちプロジェクト」と「ホストファミリーバンク」の開設により、バディー生徒（留学生を担当する生徒）とホストファミリーの事前確保を行った。
- ・市民講師も含めた教職員が、オーストラリアの生徒を含めた対話的な授業計画の立案を行い、英語で行う授業やバディー生徒の通訳を取り入れた授業を計画し実行した。

5. 本取組・活動の内容



Water bucket の模型

「STEM授業交流」

- ・数学や理科の分野について、オーストラリアからの留学生たちによるプレゼンや、引率の先生による授業を通して、本校生徒がSTEM授業交流を行った。授業は英語で実施、本校生徒も英語を駆使して授業に参加した。
- ・ウォーター・バケット・チャレンジでは、水をためるバケツのタワーの模型をストローとプラスチックコップを使って作成した。
- ・強度と重さの計算や安定性の確保など、理科や数学の知識を統合するSTEM学習を各チームで行い、最後に模型のコップに耐えるビー玉の数で各チームが競いあった。

「選手村を考える」

- ・東京オリンピック・パラリンピックにそなえ、オーストラリアからの留学生とともに選手村について話し合った。アメリカ人講師を迎え、活動はすべて英語で行い、グループ発表も英語で実施した。
- ・生徒たちは各国の選手がくつろげる温泉施設や、テーマパーク、ショッピングセンター、共有リビングルームなど、おもてなしを軸に様々なアイデアと日本ならではの企画を立案し、それぞれのグループで理想の選手村を計画した。



留学生と選手村を考える



理想の選手村



日本文化概論 (将棋)



日本文化概論 (茶道)



放課後の清掃活動



都知事表敬訪問

「日本文化概論・東京体験スクール」

- ・「東京体験スクール」という名の通り、留学生は白鷗で東京の高校生活を体験した。本校で学校設定科目として設置している「日本文化概論」で日本の伝統・文化についてオーストラリアの生徒とともに学ぶ機会や、オーストラリアにはない放課後の清掃活動や部活動などを体験した。
- ・また、ホストファミリーとなった本校担当生徒も含め、全員で都知事への表敬訪問も実施し、留学生にも本校生徒にも豊かな国際感覚を身につける貴重な機会となった。

6. 成果

- ・オーストラリアの高校生とホームステイを含め生活をする中で、改めて文化の違いに気づかされるとともに、日本の伝統・文化を再認識するよい機会となった。
- ・「選手村を考える」授業を通して、国を超えてお互いの生徒が東京オリンピック・パラリンピックで各国の選手が快適に過ごせる選手村を考え、ダイバーシティを尊重し広く世界に関心をもつ良い機会となった。
- ・「日本文化概論」での学習は、日本の伝統・文化を英語で考える機会となり、留学生だけでなく本校生徒にとっても国際感覚を身につける有意義な機会となった
- ・参加した生徒達の声 「This program was a precious opportunity for us to use English. We were able to understand their culture and how they study. We shared "Diversity" with each other. (4年女子)」
「I have enjoyed learning about school life in Japan and have learnt how different it is from Australia - extending my knowledge and understanding of Japan's culture and creating global awareness. (留学生)」